



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 154

平成29年(2017)
11月2日

| | |
|------------|----|
| 9月定例会のあらまし | 2 |
| 代表質問 | 2 |
| 一般質問 | 5 |
| 常任委員会の審査報告 | 10 |
| 各会派討論の内容 | 12 |
| 議案の採決結果 | 14 |
| 意見書 | 16 |
| 特別委員会の活動報告 | 16 |
| 12月定例会予定 | 16 |

主な内容

議会だよりはこのコード
からごらんいただけます。



- 平成28年度一般会計決算を認定。歳入は356億1039万円、歳出は353億3971万円で実質収支は1億2854万円の黒字。財政の健全性・弾力性などを示す経常収支比率(注1)は96.5%(昨年度比3%増)

(注1) 財政構造の健全性・弾力性を表す指標。低いほど財政運営に弾力性があり政策的に使えるお金が多くあることを示している。

- 市内公的4病院の連携による運営体制を深めるための「あたかも一つの総合病院」機能の進化検討事業費や由良川ハザードマップを作製する事業費など2億1233万円の平成29年度一般会計補正予算を可決



秋祭りのはじまり

9月定例会のあらまし

- 緊急の断水時に病院など高所にある受水槽への水の補給を行うことができる加圧式給水車の購入費のための平成29年度水道事業会計補正予算1500万円を可決
- 舞鶴市の総合計画を調査・審査するため、学識経験者や市内各種団体の代表者などで構成する「総合計画審議会」を設置する条例制定を可決

平成29年舞鶴市議会9月定例会は8月30日に開会。10月2日までの34日間開催し、市長から提案された平成28年度の一般会計等の決算や平成29年度の一般会計等の補正予算、条例制定、人事案件、議員提案の特別委員会の設置、意見書などの23議案を審議し、いずれも原案のとおり認定・可決・同意としました。

平成29年 舞鶴市議会9月定例会代表質問

平成29年9月8日

| 順番 | 会派名及び氏名 | 質問事項 |
|----|-------------------|------------------------------------|
| 1 | 公明党議員団 上羽 和幸 | 1 地方創生の取り組みについて |
| | | 2 健全財政の取り組みについて |
| | | 3 京都舞鶴港について |
| 2 | 鶴翔会議員団 田村 優樹 | 1 医療環境について |
| | | 2 教育環境について |
| 3 | 新政クラブ議員団 眞下 隆史 | 1 「飛躍元年・行動元年」に対する実績評価について |
| | | 2 原子力発電所の再稼働について |
| | | 3 引揚を縁としたウズベキスタンとの交流について |
| | | 4 受益者負担の適正化に向けた取り組みについて |
| | | 5 次代を担う若者への事業等について |
| 4 | 日本共産党議員団 小杉 悦子 | 1 28年度の取り組みについて |
| | | 2 舞鶴の地域医療について |
| | | 3 原発問題について |
| | | 4 憲法遵守に対する市の考え方について |
| 5 | 創政クラブ議員団 高橋 秀策 | 1 山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会について |
| | | 2 赤れんが周辺等まちづくり事業について |
| | | 3 京都府北部地域連携都市圏について |
| | | 4 旧軍港四市の日本遺産活用について |
| | | 5 地域の歴史を学ぶ取り組みについて |

※質問事項のうち次頁以降に記述の「主な質問・答弁の要旨」以外の事項は、ホームページをごらんください。
※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める方式のみとなっています。



9月8日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

希望にかなう 雇用の充実を

質問 ①市の有効求人倍率は良好だが、希望にかなう雇用のマッチングが重要だがどうか。

②就職の選択肢を増やすために優良な企業誘致に努力願うがどうか。③求人への偏りから職種によって人手不足が生じている。改善策の検討はどうか。

答弁 ①「ジョブ・サポートまいづる」で

細かな相談に応じ、マッチング支援に努めている。②企業見学会の開催、首都圏や中京圏での誘致活動に一層強化を図っている。③

業種へのマッチング機会や求職者の掘り起こしに努めている。



就職支援センター「ジョブ・サポートまいづる」



公明党議員団
上羽 和幸

しに努めている。

中長期財政計画の作成を

質問 限られた財源

の中、効率的效果的な財政運営が求められる。国の経済動向も見据え、総合計画の実行性と整合性を保つ上からも中長期の財政計画を作成するべきだと考えるがどうか。

答弁 政策と財政が

連動した次期総合計画に合わせ、中長期財政計画の作成に取り組みたい。

医療環境の 課題認識を問う



鶴翔会議員団
田村 優樹

質問 本市の公的4

病院は、総合病院として市民からどのように評価されているのか。「中丹地域医療再生計画」に明記されている救急医療体制の強化、医師の確保対策や市休日急病診療所の夜間診療、医療センター内にバックアップ病床を設けるなど、市民との約束、果たすべき課題認識を問う。

答弁 各公的

病院の緊密な連携により、「あたかも一つの総合病院」として機能している。医師数も維持され、近隣市と比べて



本市の医療環境は充実しているか

教育的支援の充実

質問 特別な教育的

支援を必要とする児童生徒が年々増える傾向にあると聞く。教育支援を推進していくには、支援員の資質向上や適切な配置、支援員確保対策等のため予算を増額するなどの措置が必要であると考えますが市の見解を問う。

答弁 児童生徒の状

況に応じ、予算措置を含め、支援員の資質向上、確保に努めていく。

市長の思いが国や 関西電力に届いたか



新政クラブ議員団
眞下 隆史

質問 高浜発電所に

近い大浦地域の河辺地区に防災行政無線の設置や避難道である府道の拡幅も順調に進められている。しかし、何より最優先は国や関西電力への対応であるが、現在の状況や今後の見込みについて問う。

答弁 これまでから

国や関西電力には強く要望し、資源エネルギー庁からは「舞鶴市は特別な自治体である」と認識し、今後の原子力政策に活かす」と。関西電力からは「舞鶴市は特別であると認識

受益者負担の適正化とは

質問 市内公共施設

に対する受益者負担の適正化に向け、長期間にわたりさまざまな議論・検討がされているが、取り組みの趣旨や方向性と市長の決意を問う。

答弁 この取り組み

は料金増が目的ではない。受益者負担の考え方を整理し市民の皆さまに公平公正に負担いただく、持続可能な運営を確立するため強い決意を持って取り組む。

あると認識し、市長が求める趣旨を踏まえ、それほど時間をかけずに検討したい」と言及されている。



舞鶴市に隣接する高浜発電所

9月8日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

市長がすすめた 地域医療再編の検証を



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 市長は「新たな中丹地域医療再生計画」に沿って本市の地域医療の確保を進められた。大切なのは、医療を受ける現状など市民・患者側からの検証が必要だと考えるがどうか。

答弁 中丹医療再生計画の修正案は、概ね完了したと考えており、市民の気持ちを考えしっかりと取り組んでいく。

舞鶴の発展は平和でこそ

質問 安倍首相は、「憲法9条に自衛隊を明記する改憲を行う」、2020年に施行する」と宣言した。これは憲法99条に明記された「憲法を尊重し、擁

護する義務」を公務員に課した規定に違反する発言と考えるが、市の認識を問う。

答弁 憲法遵守は当たり前。憲法については、日本が占領下で作られたこと、憲法は変えてもいいという項目があること、先進国で憲法を変えていないのは日本だけであるという点から、国会において議論し、変えることに問題はない。



世界の宝 憲法9条

新幹線の京都府北部 ルートの実現を



創政クラブ議員団
高橋秀策

質問 北陸新幹線敦賀以西ルートについては残念な結果だったが、我々が訴えてきた新幹線ネットワークによる日本海側国土軸の形成や京都府北部地域のポテンシャルと重要性を考えると、引き続き整備新幹線を誘致していくことが必要であるが市の考えについて問う。

答弁 山陰新幹線を実現する国会議員の会や山陰縦貫超高速鉄道整備推進市町村会議などの連携をより深め、国等への働きかけや地域での機運醸成などに取り組み、早期の整備

計画への格上げと、京都府北部ルートの実現に向け取り組む。

明治維新150年に向けて

質問 来年は明治維新150年になる。日本近代化の躍動を体験できるまちとして日本遺産に認定された本市の取り組みについて問う。

答弁 躍動の歴史を育んだ旧軍港四市が、日本近代化の中で果たしてきた大きな役割を全国に発信し、さらに連携を深め、積極的に取り組んでいく。



みんなの夢を乗せて

代表・一般質問などの議会情報はホームページでも公開しています

詳しくは でチェック



議会の傍聴

議会は誰でも傍聴することができます。

お問い合わせは
市議会事務局へ

☎66-1060



議会の映像配信

ライブ中継と録画の映像を配信しています。

スマートフォン・タブレットからもごらんいただけます。

右記のコードから
視聴できます



会議録の検索

過去の会議録をデータベース化しています。

気になる質問を簡単に検索できます。

右記のコードから
閲覧できます



9月11日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

平成29年 舞鶴市議会9月定例会一般質問

平成29年9月11日、12日

| 順番 | 質問方式 | 氏名 | 質問事項 |
|----|------|-------|---------------------------------|
| 1 | 一括 | 杉島 久敏 | 1 市営北吸墓園について |
| | | | 2 安心生活支援システムについて |
| | | | 3 がん検診について |
| 2 | 一括 | 和佐谷 寛 | 1 中期財政見通しについて |
| | | | 2 京都府北部5市2町の観光振興について |
| | | | 3 橋梁について |
| | | | 4 市役所の組織運営について |
| | | | 5 田んぼダムの設置について |
| 3 | 一問一答 | 伊藤 清美 | 1 農業用ため池について |
| | | | 2 舞鶴港で停泊中の外国船舶における火災等発生時の対応について |
| 4 | 一問一答 | 後野 和史 | 1 地方創生とまちづくりについて |
| | | | 2 国民健康保険の都道府県化について |
| 5 | 一括 | 西村 正之 | 1 海・港に係る職業の選択に係る教育について |
| 6 | 一問一答 | 松田 弘幸 | 1 津波災害について |
| | | | 2 野良猫への対応について |
| 7 | 一問一答 | 今西 克己 | 1 由良川水防災対策について |
| | | | 2 神崎海水浴場について |
| 8 | 一問一答 | 肝付 隆治 | 1 企業誘致の取り組みについて |
| | | | 2 生涯活躍のまち(高齢者共生型まちづくり)事業について |
| 9 | 一問一答 | 伊田 悦子 | 1 災害に強いまちづくりについて |
| | | | 2 公共交通(バス路線)の利便性について |
| | | | 3 子育て支援の充実について |
| 10 | 一問一答 | 小谷 繁雄 | 1 ひきこもり対策について |
| | | | 2 学校現場における負担軽減について |
| 11 | 一括 | 尾関 善之 | 1 西市街地における総合的な治水対策の促進について |
| | | | 2 全国藩校サミットについて |
| 12 | 一括 | 石束 悦子 | 1 学校給食について |
| | | | 2 75歳以上の高齢者外出支援事業について |
| | | | 3 農業問題について |

※質問事項のうち次頁以降に記述の「主な質問・答弁の要旨」以外の事項は、ホームページをごらんください。



9月11日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

維持管理が問われる 市営北吸墓園



公明党議員団
杉島久敏

質問 経済状況の悪化に伴う金利の低下から市営北吸墓園の維持管理を基金の運用益のみで行うことが困難な状況となってきた。

は、説明会の開催を通して、丁寧に対応し理解を得ていきたい。

大腸がん検診の有効性確保

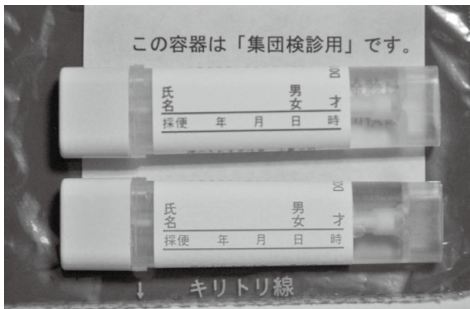
質問 大腸がん検診

今後の維持管理、基金の見直しも含め、使用者に対し、理解を得るため、どのような説明をされるお考えか。

大腸がん検診の有効性を大きく左右する要因となる。本市の委託する検診実施医療機関においては質の高い精度管理がなされ、厚生労働省が推奨する方法や基準で適切に検査が実施されているのか。

答弁 国の「がん

検診実施のため「の指針」において統一された検査方法で実施している。本市のがん検診はすべて国が承認し、基準に沿った検査キットを使用した検査のため質は適切に保たれている。



国が推奨した大腸がん検査キット

京都府北部5市2町の 観光振興は



新政クラブ議員団
和佐谷 寛

質問 市長が会長と

なり推進する京都府北部連携都市圏構想を踏まえ、5市2町が連携して観光に関する取り組みが積極的に進められている。各地域の観

光協会を経営統合し「海の京都DMO」が設立されたが、あたかも30万人規模の都市として各市町の特徴的な観光資源を連携して売り出す手法について問う。

答弁 旅行商品の造成・販売については、京都府北部5市2町が一体的に観光経営を行うことを目的に設立された海の京都DMOが旅行業免許を取得し、エリア内を巡る広域的・魅力的なモデルコースを造成し、大手旅行会社等に対して商品提案や営業活動を実施し、旅行商品の販売拡大に向けて取り組みを進めている。また、バスや鉄道等公共交通機関と連携し、京阪神の主要駅での電子広告看板や特設ブースでの情報発信の取り組みなど、京都丹後鉄道の観光列車や遊覧船等を活用したエリア内周遊を促進している。



脚光あびる府北部観光

ため池受益者減少の 課題認識は



創政クラブ議員団
伊藤 清美

質問 近年、局地的豪雨が頻繁に発生し、ため池の決壊が危惧される中、管理する水利組合等の受益者が減少している。この課題認識と受益者負担の軽減について問う。

た地域の実情も踏まえ適正に管理できるように検討する。

外国船舶停泊時の有事対応

質問 クルーズ船等

で管理体制の維持に苦慮されており、喫緊の課題と認識。ハード事業の負担については、国や府の補助制度等の検討状況を見守り、ま

多くの外国船舶が入港する状況の中、火災等不測の事態が発生すれば物流の停止、港の機能低下が懸念される。クルーズ船の誘致には観光地としての魅力発信の他に、港の安心・安全も誘致のために必要な事項と考える

が市の見解を問う。

答弁 多くの乗

員・乗客が乗船していることから人命救助を最優先とした迅速・的確な消防活動が必要と認識。府港湾局や関係機関等との連携を強固にし、安全で安心な港となるよう取り組む。



クルーズ船の負傷者を搬出する訓練

9月11日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

コンパクトシティで
行政サービス低下か



日本共産党議員団
後野 和史

質問 市が目指すコンパクトシティは、まちなかエリアに居住誘導し、まちなかの活性化・にぎわい創出に資する施設等を誘導するもので、周辺部の住民にとって、学校・保育園などの公共施設の統廃合など、行政サービスが低下することになると考えるのがいかがか。

答弁 舞鶴市域を小さくするのではなく、まちなかのにぎわいを取り戻すこと、かつての舞鶴市がそうであったような、そんなまちを取り戻すことが、市域全体の活性化につながるものであり、行政サービスの低下につながるものとは考えていない。

市街化区域を2割も減少

質問 併せて市街化区域の2割を調整区域にする案が示されており、所有する土地の評価額が下がり開発行為ができなくなるなど、市民にはマイナス面が多くなる。地域の合意を前提にするのか。

答弁 市街化調整区域に戻す、逆に市街化区域に入れるなど市民・地域の合意形成を前提に、説明及び協議を行っていく。



駅周辺に誘導するコンパクトシティ

海上自衛隊の
教育的位置付けは



会派に所属しない議員
西村 正之

質問 この舞鶴は、歴史的な史実からみても、自衛隊舞鶴基地との共存によって、まちがさらに発展し、これは未来永劫継続するものであると考える。旧軍港を引き継ぎ、基地のまちとしての舞鶴という

点で、海上自衛隊について、現在の学校教育の中でどのように取り入れ、また、今後どのように展開して取り入れようかとされているのか問う。

答弁 小学4年生では、社会科副読本「わたしたちのまち舞鶴」の中で、暮らしを守る海上自衛隊の働きを学習し、6年生の社会科、中学校の歴史、公民の分野において、国内外で平和や安全のために、自衛隊員が活動する様子を学習している。中学校の職場体験では、海上自衛隊にも協力いただき、船などの施設見学や訓練の話や貴重な体験の場を提供いただいている。今後も引き続き舞鶴に愛着を持って取り組むを継続していきたいと考えている。



(提供：海上自衛隊舞鶴地方総監部)
海上自衛隊職場体験

市民の安心・安全な
対策を



公明党議員団
松田 弘幸

質問 平成26年に国が示した断層の長さにより地震、津波の想定が変わり最大津波高は田井地区で8.8m、小橋・瀬崎地区の6.0mが想定されている。大浦地域は、高齢者も多くなっていることなど、避難の実施等の対策に課題があると思われるがその対応について聞く。

合った避難行動計画を策定する。

野良猫の対策を

質問 野良猫は、繁殖力が高いことが特徴で環境省は計算上、1匹のメス猫から3年後には2千匹以上に増えると試算している。不妊・去勢手術費の助成や周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼすような給餌を行ってはならないと定める条例を制定し、野良猫の餌やりに対するルール作りを進めて行く考えを聞く。

答弁 野良猫の不妊・去勢手術の助成や条例制定は考えていないが、京都府の条例等に基づき、餌やりなどに対する指導や啓発を行う。



災害に備える

9月11日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問



浸食が進む砂浜

由良川水防災・輪中堤の 内水対策を問う



新政クラブ議員団
今西克己

質問 由良川下流部の本市管内は4地区において輪中堤が完成し、現在三日市、下東地区で整備が進められている。各輪中堤の樋門を閉じることにより生じる内水の氾濫は、堤内から容易に想定できる。しかし、各輪中堤の樋門には、排水ポンプが設置されていない。国に対して各樋門に排水ポンプの設置を要求する考えはないか問う。

答弁 国は、内水浸水リスクを想定した上で輪中堤の整備をしており、排水ポンプの設置は考えていないとのことであるが、市としては排水ポンプの設置について要望していく。

神崎海水浴場の砂浜の浸食

質問 風光明媚な神崎海水浴場の砂浜が冬季の強い風浪、離岸流の影響により浸食が進み砂浜のスロープにまで及んでいる。府に対し抜本的な対策を要望する考えはないか問う。

答弁 市としては、神崎海水浴場の魅力は美しい砂浜と、きれいな海の景観であると認識している。京都府に対して、恒久的な対策を要望していく。

は、神崎海水浴場の魅力は美しい砂浜と、きれいな海の景観であること認識している。京都府に対して、恒久的な対策を要望していく。



喜多工業団地

企業誘致の現状と 今後の方針を問う



創政クラブ議員団
肝付隆治

質問 府では、舞鶴での産業集積をものづくり産業と物流関連産業を重点取り組みとしている。しかし、舞鶴市での重点取り組みは、再生可能エネルギー発電施設やLNGインフラの整備などによる

「京都舞鶴港エネルギークラスター拠点事業」としており、府の方針と異なっている。そこで企業誘致の現状と今後の方針を問う。

答弁 舞鶴市は、従来から造船業やガラス製造業が工業の中心となつてものづくり技術を牽引し、産業集積を築いてきた。現在も製造業にターゲットを絞り誘致活動を進めているが、併せて成長性の高い新たな分野に挑戦する企業を発掘していく。今後は、京都舞鶴港を活用した一大物流拠点とエネルギー産業関連について誘致活動を進めていく。また、戦略的に誘致を推進するため、地域、分野別の誘致計画の策定を検討するとともに、市民や市外居住の市出身者からの情報提供が得られる体制を整えていく。

子育て世帯に寄り添い 医療費助成拡充を



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 ①全国的に待機児童増加が問題となっている。本市は待機児童ゼロとしているが、入所待ちの実態がある。なぜか②保育士の処遇改善として国の予算化に合わせ、市独自で予算化された。実情を掌握しているか③子ども医療費助成で時間外など償還払いとしている。改善を求めたところ医師会や各公的病院と協議するとしていたが、協議の結果はどうか。

答弁 ①希望園に入

所できないことや保育士不足で受け入れ困難が原因②常勤保育士・調理員等が対象で実情は掌握している③市役所内部で協議し、医師会等とは協議してない。

交通弱者に寄り添う認識を

質問 東西循環線が変更され、浮島・市場地区から以前より利用しにくくなったとの声がある。市の認識と市民の思いは一致していない。路線の改善を求めるがいかがか。

答弁 東舞鶴駅で乗り継ぎが必要となつたが、待ち時間なくスムーズに運行され、利便性の高い路線となつていくと認識している。



子育てを支援する医療制度

り継ぎが必要となつたが、待ち時間なくスムーズに運行され、利便性の高い路線となつていくと認識している。

9月11日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

ひきこもり支援の さらなる充実を



公明党議員団
小谷 繁雄

質問 全国で、ひきこもりの人が依然54万人を超えている。本市および京都府の、ひきこもりの現状調査について、また、生活支援相談センターの対応と就労支援について、今後の取り組みを問う。

答弁 今年度、京都府では、ひきこもりの実態調査が行われた。本市では、生活支援相談センターにおいて、来所が困難な方への家庭訪問を行い、就労に



栄養バランスの優れた給食を提供

学校給食費を公会計に

ついては、農業体験ボランティアの受け入れ先や中間的就労できる企業を開拓していく。

質問 学校給食の徴収金の保護者負担分は、小中学校で約3億5400万円となる。今後、学校ごとの事務負担の軽減や効率化・透明化につながると思われる学校給食費の公会計への見直しについて問う。

答弁 小学校における、学校給食費の収納事務等について、今後、教職員の事務負担の軽減を図る検討と文部科学省においては、給食費を公会計で扱うことが望ましいとの見解であるため、課題も含めよく検討する。

西市街地の総合的な 治水対策は



創政クラブ議員団
尾関 善之

質問 今日、地球温暖化などがその一因とされる局地的な集中豪雨による甚大な被害状況が各地で報道されているが、西市街地における総合的な治水対策の促進について尋ねる。

答弁 総合的な治水



18号台風浸水の様子

全国藩校サミット

対策では、府と市がそれぞれ役割分担のもと、府が高野川の整備事業を、市が下水道事業として市街地の浸水対策に着実に事業を進め、一日も早い治水対策に取り組む。

質問 平成30年9月に「みなと舞鶴、藩校に学ぶ人づくりの精神」として、第16回国藩校サミット舞鶴大会が開催されると聞かれますが、さらなる交流人口の増大や人づくりに繋がると大変期待している。この大会について、市としての取り組みについて尋ねる。

答弁 本大会の成功に向け可能な限りの支援を行いたいと考えている。この機を捉え全国から参加される方々に本市の魅力アピールするとともに、人づくり、まちづくりに活かしていきたいと考えている。

アレルギー対策等 小中学校給食の改善を



日本共産党議員団
石束 悦子

質問 小学校の週3回の米飯給食を増やせないか。ご飯と味噌汁は免疫力を高め、生産農家の所得を高めることにもなるがどうか。

答弁 舞鶴産コシヒカリを使用しており、回数を増やすことでお米を食べる習慣が身につくが、費用が高くなる。今後検討していく。

質問 中学校給食でのアレルギーの生徒への対応はどうか。

答弁 食物アレルギー食品を除去した給食を提供している。

質問 代替のメニューにするため自校方式等の給食にできないか。

答弁 個々に応じた献立は困難であり、除去食での対応で、今後もスクールランチ方式

での給食の充実を図る。

米直接支払交付金の復活を

質問 政府は来年から国による生産調整をやめ、一反あたり7500円の米直接支払交付金がなくなる。市として国に対し、この制度を復活するよう意見を上げるべきでないか。

答弁 平成30年から「収入保険制度」が創設され、不安が解消される。国に対し求めることは考えていない。



秋の穫り入れ

本会議において付託された議案を5常任委員会において審査しました。
予算決算委員会(付託議案15件)

予算決算委員会

議案15件のうち、9件を全員賛成、6件を賛成多数で可決、認定

平成28年度一般会計

討論において、反対の立場から、北陸新幹線誘致推進事業について、新幹線が誘致された地域は、人口が開通前後に多少増加するものの、その後は、人口が減少し、地域外に都市機能が吸い取られていること、また、財政負担や並行在来線がどうなるのかが明らかでない中での事業の進め方などに対して、これまで異論を唱えてきたが、事業の結果を総括した上で、市民に対して説明責任を果たす必要があること。

また、民間参入により、観光で自立を迫るような利益優先の観光事業の進め方では、持続可能な地域をつくる自治体本来の役割は、失われていくと考える。特色ある教育環境づくり支援事業について、日星高校の特進コースへの支援であり、市内に大勢の高校生がいる中で、特定の「できる子どもたち」への支援の補助金は認められないなどの意見がありました。

一方、賛成の立場から、歳入においては、個人市民税、法人市民税がともに増加しているものの、固定資産税が大きく減少したことに加え、地方交付税や地方消費税交付金などの減少により経常一般財源が大幅な減少となった中、国庫補助金や府補助金等の財源確保に努められたこと。法人市民税は、税率が引き下げられたにも関わらず、観光プラン下戦略による振興施策やインフラ整備の推進が集客につながったため、増収となったこと。シーリングも含めた経常経費の削減、基金の取り崩し抑制、建設地方債発行の抑制など、財政の緊縮等により健全性が維持されていること。

経常収支比率は、平成27年度決算から3ポイント上昇し、96.5%となったが、これは、地方消費税交付金等が減少したことによるものと認識しており、市民税の増収等から考えて、これまで取り組んでこられた各種の施策の結果が着実に表れてきていること。

しい財政状況のもとで、経常経費の削減や事業の整理などを積極的に行い、持続可能な財政運営に取り組み黒字決算を確保されたこと。農林水産業の分野では、基盤整備の促進や有害鳥獣対策、森林整備、漁港施設の長寿命化など、移住者や若者の流出対策にもつながる施策が実施されたこと。

朝来小学校の屋内退避施設整備により、万が一の原子力災害から住民の生命と健康を守る事ができるほか、浸水対策としての西市街地への逆流防止対策などにより、防災機能の充実・強化が図られたことを評価するなど、意見がありました。

平成28年度病院事業会計

討論において、反対の立場から、全体としての赤字額は、2億9400万円、約3億円もの税金が、赤字補助金として支出されている。経営の収支は改善しておらず、今後の経営見直しも、これ以上良くなる要素は見当たらないこと。

平成28年度水道事業会計

討論において、反対の立場から、昨年10月から水道料金が値上げされたが、労働者の実質賃金は連続してマイナス、年金はマイナスイナス、厳しい市民生活に追い打ちをかけた値上げであったことから、この決算については認定できないなどの意見がありました。

一方、賛成の立場から、厳しい経営環境が続いていくものと考えられる中で、安全で安心な水道水を安定的に供給するための計画的な施設の更新等は必要であり、健全経営を図るため、水道料金の改定のほか、経営コストの削減などに取り組みられているものと理解するなどの意見がありました。

起債償還の開始等によって、赤字が増える可能性もある中で、将来にわたり、市民に負担を強いていくことは極めて重要な問題であり、経営改善のためには、医療の必要度の高い患者を増やした





本会議において付託された議案を5常任委員会において審査しました。
建設委員会(付託議案1件)、民生環境委員会(付託議案2件)、
総務文教委員会(付託議案1件)

常任委員会の 審査報告

結果、死亡退院が増え、市民病院の設置目的である退院後の在宅医療への橋渡しの位置付けも揺らいでいると言わざるを得ないなどの意見がありました。

一方、賛成の立場から、一般会計からの繰り入れを行わなければ赤字になるという療養型の病院であることから、やむを得ないが、このことを市民にしっかりと説明する必要があると考えるとの意見がありました。

平成28年度介護保険事業会計

討論において、反対の立場から、第6期介護保険事業計画に基づいて、保険給付や地域支援事業を行ったとされているが、小規模特養は未整備のまま来期

建設委員会

公有水面埋立てに関する意見を可決

舞鶴港港湾管理者である京都府が、舞鶴港港湾計画に基づき、和

田地先において、漁業用の物揚場及び船揚場等のふ頭用地を確保す

へ持ち越しで、特養の待機者は解消できていない。

医療・介護総合法に基づいて、医療も介護も後退している状況が、介護保険事業会計にも影響し、負担増やサービス低下の原因にもつながることから、この決算については認定できないなどの意見がありました。

平成29年度一般会計補正

討論において、賛成の立場から、京都府北部地域連携都市圏形成推進事業における加圧式給水車の購入補助や「あたかも1つの総合病院」機能の深化検討事業の進め方には、指摘すべき点はあるとの意見がありました。

るために整備される

「和田第2船だまり」に係る公有水面653・59平方メートルを埋め立てることに関して、京都府知事から市長への意見照会に対し、「意義なし」と回答することについて、公有水面埋立法第3条第4項の規定により、議会の議決を求めるものであるとの説明がありました。

質疑において、今回の船だまりの整備は、防波堤も含め、平成33年度に完成すると聞いて

民生環境委員会

舞鶴市介護保険条例等の一部を改正

舞鶴市介護保険条例の一部改正は、介護保険法では市町村による「被保険者等に関する調査」について規定しており、被保険者等が当該調査に応じなかった場合等に、市町村は条例に定めることで10万円以下の過料を科すことができることと規定していること。

ていること。

施設の維持管理は、京都府が行い、施設を使用する者は使用料を負担することになるなどの答弁がありました。討論において、賛成の立場から、「和田第2船だまり」の整備は、京都府の事業であるが、中舞鶴地区の長年の要望でもあったので、議決後は、スムーズな事業の進捗を願いたいとの意見がありました。

総務文教委員会

舞鶴市総合計画審議会条例を制定

ありました。質疑において、マイナンバーを用いて情報提供ネットワークを介した情報連携が可能となるよう法改正がなされたもので、当該調査

の対象をすべての被保険者及びその配偶者等と改正されたことに伴うものであるなどの答弁がありました。

介護保険法の改正に

より、当該調査の対象について、第2号被保険者の配偶者等にも及ぶこととされ、これに伴い、調査に応じなかった場合の過料に関する規定についても、同様の改正がなされたので、この条例においても所要の改正を行うものであるとの説明が

質疑において、総合計画の策定に当たっては、これまで審議会を設置して意見を聞いてきたが、今回は、条例に基づく市の附属機関として、審議会を設置するものであること。策定の手順については、これまでと大きく変わる

平成31年4月からスタートする次期総合計画の策定に取り組みに当たり、総合計画に関する審議等を行うための「舞鶴市総合計画審議会」を設置することとし、その所掌事務、委員の構成、会議の招集や議決方法などを定めるものであるとの説明がありました。

委員については、男女比率や年齢構成等も考慮しながら選定する考えであるなどの答弁がありました。討論において、賛成の立場から、審議会での議論のほか、市民の幅広い意見を集約し、よりよい総合計画となることを期待するとの意見がありました。

10月2日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討 論

市民病院の赤字
3億円を税金で負担

鶴翔会議員団
松岡 茂長



19議案のうち、病院事業会計決算には反対、その他の議案には賛成の立場で討論する。28年度の決算全体を見ると、経常収支比率や財政力指数、将来負担比

率などが悪化し、舞鶴市の財政は相当厳しい状況にある。そうした中で市民病院の経営は改善しておらず、収益率はマイナス46・9%と非常に悪い。その赤字の補てんに、約3億円もの税金が支出されている。赤字額は今後も横ばいで、改善する方策もない状況にきている



ベッドの患者を介護している様子

と考える。市全体の財政が急速に硬直化している中、病院事業の赤字によって、将来にわたり市民に大きな負担を強いることは極めて重要な問題だ。加えて、経営改善のために医療区分Ⅱ・Ⅲの患者を増やした結果、死亡退院が増え、市民病院が特別養護老人ホーム化し、本来の「在宅への橋渡し」の設置目的から外れ、矛盾を抱えた運営になっている。よって現在の市民病院事業には賛成できず、本決算には反対する。



加圧式給水車の導入を評価する

新政クラブ議員団
今西 克己



今定例会に上程された第79号議案から第97号議案までの全議案に賛成、又は認定の立場で討論する。第80号議案、水道事業会計補正予算の今回導入を予定されている加圧式給水車は、地上25mまでの高層建物の屋上に設置されている受水槽にも給水可能になり、災害時には、約530人分の飲料水を迅速に給水することができ、本市の危機管理体制の充実が図られると共に、他市で発生した大規模断水や災害時には支援が可能となる。また、この給水車は、北部2市2町の共同購入による

もので、維持管理費の削減も図られることから高く評価する。

第83号議案一般会計決算のうち、8款土木費、幹線道路整備事業の市道引土境谷線は、国道27号線のバイパスとなる西舞鶴道路と連結し、西地域の渋滞緩和にもつながる重要な幹線道路である。現在約75%の用地買収が完

了しており、33年度の完成を目的に取り組んでいたこと、評価し認定すること



工事が進む西舞鶴道路（倉谷地区）

FMまいづる
市議会情報番組



市議会への関心を高めていただくために、「FMまいづる (77.5MHz)」で議会情報を発信しています。「ななこちゃったラジオ」に毎月1回議員がゲスト出演し、市議会の仕組みや活動状況をお伝えします。

放送日は不定期ですが、ホームページでお知らせします。



10月2日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討論



持続可能なまちづくり
市民参加でこそ

日本共産党議員団
伊田悦子



提案された5議案に反対。残る14議案賛成。地方創生で打ち出される施策は、「海の京都」などの観光・イベントに偏っており、本市もこの方向で施策が展開された28年度一般会計決算。観光客の増加が、地域経済の活性化、市民所得・市税収入の増加にどう反映しているか検証が必要。



市民参加でまちづくりを

国民健康保険・介護保険事業決算は、保険料の引き下げに配慮せず反対。水道・下水道事業決算は、値上げされたもとの決算で反対。

あらたな市民負担増は反対

反対の内容は①「北陸新幹線誘致推進事業」は、財政負担・在来線などがどうなるのか明らかにならない中で進められ、計画から外れ失敗に終わった。反省・総括し市民に説明を。②「海の京都DMO広域観光推進事業」は、持続可能な地域づくりに、負担と矛盾をもたらすもの。③「特色ある教育環境づくり支援事業」は日星高校特進コース38人への支援。できる子どもだけへの支援は反対。よって28年度一般会計決算は認定できない。

国民健康保険・介護

健全性を維持した
一般会計決算を認定

公明党議員団
杉島久敏



今定例会に上程された全議案に賛成・認定の立場で討論する。

28年度一般会計予算は、「飛躍元年」「行動元年」と位置付けられ、投資的事業を展開された予算である。一方で、経常経費の節減など財政の緊縮にも取り組み、力強く押し進めていた



開設された「子ども何でも相談窓口」

施設の設定、宅地嵩上げ助成に取組み総合的な治水対策を実施いただいたことを評価、今後の事業進捗に期待し、28年度一般会計決算を認定する。

新市民病院で急性期
3病院の側面支援を

創政クラブ議員団
林三弘



全議案に対し賛成・認定の立場で討論する。

28年度一般会計決算の内容は、基幹収入である市税収入の減少する中で、国庫補助等の財源確保に努められた上で、舞鶴版地方創生に取り組みられ黒字となった。財政運営の苦労が読み取れ評価し認定する。市民病院事業は療養型に特化して3年になるが、新病院に限定すると交付税により市の持ち出しは実質ないとこれまで改善された努力を高く評価する。療養型病院は不採算性の強い病院であるが、高齢化社会において市民ニーズが非常に

高く、地域医療を守る自治体病院として急性期3病院を側面から支えなければならぬ。さらなる経営努力を望む。

引揚記念館事業については引き揚げの史実はシベリアだけでなくウズベキスタン等中央アジアにも存在する。オリンピックで本市とつながりができた今、多くの方々にその史実を知っていただくため展示事業の拡大を図るべきである。



なくてはならない療養型市民病院

10月2日の本会議での議案採決結果は、次のとおりです。
 この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。
 この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しています。



全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市総合計画審議会条例制定について
- 舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市文化振興条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決・同意したその他の議案

- 公有水面埋立に関する意見について
- 教育委員会委員の任命について

不…不採択 【賛否】 ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

| 谷川眞司 | 林三弘 | 山本治兵衛 | 今西克己 | 上野修身 | 岸田圭一郎 | 鯛慶一 | 福村暉史 | 眞下隆史 | 水嶋一明 | 和佐谷寛 | 上羽和幸 | 小谷繁雄 | 杉島久敏 | 松田弘幸 | 石束悦子 | 伊田悦子 | 小杉悦子 | 後野和史 | 亀井敏郎 | 田村優樹 | 松岡茂長 | 西村正之 | 議決をした日 | |
|------|-----|-------|------|--------------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|-------|
| 創政 | 創政 | 創政 | 新政 | 新政 | 新政 | 新政 | 新政 | 新政 | 新政 | 新政 | 公明 | 公明 | 公明 | 公明 | 共産 | 共産 | 共産 | 共産 | 鶴翔 | 鶴翔 | 鶴翔 | 無党派 | | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | 議長は採決に加わりません | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 10月2日 | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 10月2日 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | 10月2日 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 10月2日 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 10月2日 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 10月2日 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 10月2日 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 10月2日 |

☆舞鶴市議会の議員定数は28人です。

議案の採決結果

(平成29年9月定例会) 会期:8月30日~10月2日

全会一致で可決・認定した予算及び決算議案

- 平成29年度舞鶴市一般会計補正予算(第2号)
- 平成29年度舞鶴市一般会計補正予算(第3号)
- 平成29年度舞鶴市水道事業会計補正予算(第1号)
- 平成29年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)
- 平成29年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第1号)
- 平成28年度舞鶴市簡易水道事業会計決算の認定について
- 平成28年度舞鶴市土地建物造成事業会計決算の認定について
- 平成28年度舞鶴市貯木事業会計決算の認定について
- 平成28年度舞鶴市駐車場事業会計決算の認定について
- 平成28年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計決算の認定について



賛否が分かれた議案

【議決結果】 可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、

| 議員名簿等(会派内は五十音順) | | 出席者数 | 投票者総数 | 賛成 | 反対 | 棄権 | 議決結果 | 伊藤清美 | 尾関善之 | 肝付隆治 | 桐野正明 | 高橋秀策 |
|-----------------|------------------------------------|------|-------|----|----|----|------|------|------|------|------|------|
| | | | | | | | | 創政 | 創政 | 創政 | 創政 | 創政 |
| 議案名 | | | | | | | | | | | | |
| 市長提出議案 | 平成28年度舞鶴市一般会計決算の認定について | 28 | 27 | 23 | 4 | 0 | 認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成28年度舞鶴市水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について | 28 | 27 | 23 | 4 | 0 | 可認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成28年度舞鶴市病院事業会計決算の認定及び資本剰余金の処分について | 28 | 27 | 24 | 3 | 0 | 可認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成28年度舞鶴市国民健康保険事業会計決算の認定について | 28 | 27 | 23 | 4 | 0 | 認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成28年度舞鶴市下水道事業会計決算の認定について | 28 | 27 | 23 | 4 | 0 | 認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成28年度舞鶴市介護保険事業会計決算の認定について | 28 | 27 | 23 | 4 | 0 | 認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出議案 | 山陰新幹線京都府北部ルート誘致特別委員会の設置について | 28 | 27 | 23 | 4 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 「全国森林環境税」の創設に関する意見書 | 28 | 27 | 23 | 4 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【会派】

創政…創政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、鶴翔…鶴翔会議員団、無会派…会派に所属しない議員

意見書、特別委員会の活動報告、編集後記、12月定例会予定

意見書

9月定例会では、「全国森林環境税の創設に関する意見書」1件を可決しました。その主な内容は次のとおりです。

政府・与党は、『平成29年度税制改正大綱』

において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要なる財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定

した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

記

よって、左記の制度創設について実現を強く求めるものである。

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要なる財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に關し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

特別委員会の活動報告

原子力防災・安全等特別委員会

8月10日に委員会を開催し、大飯発電所に係る原子力安全協定等について執行機関から説明を受けました。

北陸新幹線誘致特別委員会の終了

9月7日に委員会を開催し、北陸新幹線誘致特別委員会の活動を終了することを確認し、10月2日の本会議で決定しました。

本特別委員会は、平成27年11月に設置し、北陸新幹線の敦賀以西で、京都府北部地域を経由するルートの誘致に向け、ルート決定まで、調査視察、意見交換、要望活動などを行いました。

山陰新幹線京都府北部ルート誘致特別委員会を新たに設置

山陰新幹線の京都府北部地域を経由するルートの誘致促進に向けた調査を行うことを目的に、新たに「山陰新幹線京都府北部ルート誘致特別委員会」を設置することが、10月2日の本会議で可決・決定しました。

編集後記

木々の葉も鮮やかに色づいてきました。皆さまは、秋の夜長をどのようにお楽しみでしょうか。

さて、現編集委員での「まいづる市議会だより」編集作業は、No.154をもちまして最後となりました。市民の皆さまが、手に取って読みたいような紙面の構成を探求し、議論を重ねた1年でしたが、議会の情報を提供するための課題はまだまだ尽きません。

今後も、市議会だよりが市民の皆さまと議会の架け橋となるよう、ご意見やご感想なども反映してまいりたいと存じますので、お気付きの点等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

結びに、毎回のご愛読に感謝を申し上げ、編集後記とさせていただきます。

(田村 優樹 副委員長)

【議会報編集委員会】

- 委員長 山本 治兵衛
- 副委員長 田村 優樹
- 委員 肝付 隆治
- 委員 小谷 繁雄
- 委員 後野 和史
- 委員 眞下 隆史



12月 定例会予定

11月

29日(水)本会議(開会)

12月

5日(火)請願受理締切

8日(金)本会議(一般質問)

11日(月)本会議(一般質問)

12日(火)予算決算委員会分科会・常任委員会

13日(水)予算決算委員会分科会・常任委員会

19日(火)予算決算委員会

25日(月)本会議(閉会)

※予定は変更することがあります